

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 nab-PTX療法						臨床区分	抗癌剤適応分類		登録日	2012年12月1日				
疾患名	乳癌						<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療	<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法		1クール期間	21日				
診療科名	乳腺・甲状腺外科						<input type="checkbox"/> 単施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術後化学療法							
登録医師名	野村 長久						<input type="checkbox"/> 他施設自主研究	<input type="checkbox"/> 術前化学療法							
							<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究	<input type="checkbox"/> 局所療法							
							<input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> その他							
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日						注意コメント		
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		day1	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること。	
							●	—	—	—	—	—	—		—
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。	
	テキサート注射液 6.6mg	1	瓶												
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン	30min	●	—	—	—	—	—	—	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量のみ空容器に注入 ※メインルート使用（生食のみ配合可能） ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製品であるため、ロット番号入力を忘れないこと。 ※特定生物由来製品であるため、同意書が必要	
	アフラキサン点滴静注用	260	mg/m2												
4															

備考欄

--

文献

--

減量・中止基準

	減量基準	再開基準
好中球数	<500/mm3	≥1500/mm3
発熱性好中球減少症	発現	回復
血小板数	<50000/mm3	≥100000/mm3
肝機能値(AST, ALT)	医師が同一用量で継続困難と判	≤ULN × 2.5倍※
末梢神経障害	≥Grade3	≤Grade1
皮膚障害	≥Grade2	≤Grade1
粘膜炎・下痢	≥Grade3	≤Grade1
その他非血液毒性(脱毛を除く)	≥Grade3	≤Grade2

※肝転移を有する場合は、各施設基準値上限の5倍まで許容

減量の目安

減量段階	投与量
通常投与量	260mg/m2
1段階減量	220mg/m2
2段階減量	180mg/m2

参考文献:癌化学療法レジメンハンドブック第7版 p296